

ほやほや

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.039

平成24年7月発行



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

福井赤十字病院



乳癌手術、もう一つの選択肢

乳房再建を知る

災害対応訓練開催

消化器センター紹介

もっとクロス! 赤十字フェスティバル開催

フロアアテンダント業務開始

病棟薬剤業務開始

すずらん寄贈 CSセット 市民公開講座開催報告 夏のレシピ

乳癌手術、もう一つの選択肢 乳房再建のこと ご存知ですか？

外科と形成外科の協働で、
質の高い再建を目指します。



形成外科副部長
神野千鶴



外科部長
田中文重

乳癌は現在、日本人女性の16人に20人に1人がかかると言われています。日本で乳房温存手術が始まって25年経ちますが、癌の範囲や場所によつては依然として乳房切除手術が必要な患者さんが多くおられます。この手術の結果、乳房をなくした患者さんが少しでも前向きになれるよう、選択肢の一つとして乳房再建術という治療方法があると知っています。

乳癌であることを告げられた時には、それだけで大きな衝撃を受けているにもかかわらず、その上乳房を失う、あるいは変形する可能性を聞きざらに混乱されるでしょう。女性にとって乳房とは心理面で非常に重要な臓器であることを配慮し、最近では、乳房の温存が可能かまた切除するかの選択肢を提示するようになりました。その時点では冷静に治療を選択できない方もいると思います。まず、あなたの乳癌に必要な治療を理解していただくとともに、乳房再建術の適応や時期について患者さんにとって

て良い方法を、ご家族・外科・形成外科が一体となつて相談しながら決定することが大切と考えています。

では実際の乳房再建術とはどういったものがあるのでしようか?

第一に手術の時期です。乳房再建術では、外科での乳房切除術に引き続き形成外科が行う「一期再建」と、手術やその後の薬物療法などの治療を終えた後に改めて手術を行う「二期再建」があります。

第二に、再建する乳房の材料です。お腹や背中の皮膚や脂肪を使用する方法と、シリコンなどの人工物（インプラント）を使用する方法があります。自分の背中やお腹を使う方法では質感は良いですが、身体に傷が残ります。人工物は新たな傷はつきませんが、自費のため少しお金がかかります。それぞれに特徴がありますので、こちらも相談して決定しています。

何度も手術を受けたくないという気持ちもあると思います。でも、もし乳癌が治つても「年だから」とあきらめている。大好きな

自分にとって
乳房再建とはどういうことか、
もし迷ったら
一度相談に来てください。

温泉をやめた。引っ込み思案になつた。ブラジャーをつけられず、スポーツがしにくい。一日何度もパートを調整する」といったネガティブな思考になつてはいませんか？

当院では、乳腺外科医と形成外科医の連携を密に行い、協力して質の高い乳房再建を目指しています。



お腹の痛みや異常は、
まず“消化器センター”へお越しください。

自分で、食べたものを消化することが主要な働きです。臓器で言えば口から食道、胃、十二指腸、小腸、大腸そして肛門、また肝臓、胆囊胆管、脾臓、脾臓と多くの臓器があります。なんと五臓六腑のうち三臓四腑まで消化器です！ですからそこに起つる病気も多種多彩です。

ところで、内科外科という区別は古来存在し、さてその境界はどこかというと、あつたりなかつたり、右へいつたり左へいつたり、実は明確ではありません。しかも最先端の医療を取り入れれば入れるほどより複雑になつてきます。

例えば胃潰瘍は昔は手術が主体でした、が、今は胃に明らかに穴が開いてよほどひどい腹膜炎にならない限りはお薬で治すといったように、時代と共にどんどんその境目は変化しています。胃がん、大腸がんも内視鏡で削りこつて治る場合が多くなつてきました。あるいはよくある病気では腸閉塞にも手術はせずに点

手術をしなければならない場合があります。はじめから内科外科と区別をしてしまうとそれだけ治療が遅くなる危険もあるわけです。ですから内科外科という境界を取つ払つて一緒に患者さんを見させていただく、あるいはかかりつけ医の先生方からご紹介いただく時にも、その区別なく送つていただけるようにと生まれたのが“消化器センター”です。腹痛はもちろん、腹部に関してなんらかの症状があつたら消化器センターへお越しください。

センターの中では部屋別に外科医あるいは内科医が隣り合わせで診療を行つており、その病気が外科医からみたらどうか、あるいは内科医からみるとどうかを検討し、適切な診療を行います。

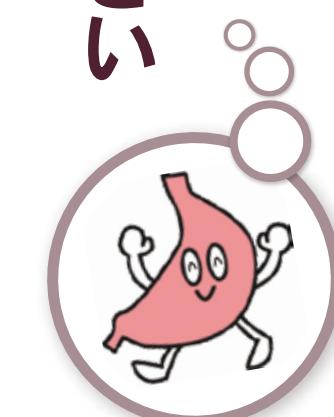
スタッフは下記表の通り。消化器の各領域のエキスパートがチームを組んで最先端の医療を提供いたしております。



新患担当医師

	外 科	内 科
月曜日	広瀬医師	松永医師
火曜日	土居医師	山崎医師
水曜日	藤井医師	三原医師
木曜日	青竹医師	原 医師
金曜日	川上医師	道上医師

※新患担当医師は都合により変更になる場合がございますので消化器センター受付にてご確認ください。



「結ぶきずな地域とともに」 赤十字フェスティバルを開催!!

「結ぶきずな地域とともに」をテーマに、日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、福井県赤十字血液センターの3施設合同で、「もつとクロス！赤十字フェスティバル」が5月12日（土）に開催されました。赤十字の活動をより深く知つてもらおうと毎年、開催しています。

主会場となった福井赤十字病院では、看護師らによる骨密度と血管老化度などをチェックする測定コーナー、救護班の体験ができるキッズコーナーなど、多

彩な催しが繰り広げられました。サブ会場のJR福井駅西口で献血コーナーを開設し、献血の協力を呼びかけました。また、東日本大震災で救護班が救護活動などを展開し続けた宮城県「石巻市雄勝復興市」も開かれました。救護班と共に活動した雄勝病院の看護師らが駆けつけ、焼きそばなどを販売して盛り上げてくれました。

午後からは屋外での特設ステージを

使ったパフォーマンスショーが行われました。少し強めの風が吹く中でのスター。会場の肌寒さを吹き飛ばしてくれたのは、子供たちによるチアダンスでした。幼児～小学生の子供たちがPOPな音楽に合わせて踊る姿に、お母さんたちのカメラが放つフランシュはもちろん、会場全体が手拍子と笑顔で溢れました。

フェスティバルも終盤、まだまだ盛り上げてくれたのは、看護師長たちによるダンスユニットBABAXE（ババザ）は、より子さんのライブでした。美しい歌声に会場が静まる一方、病棟の患者さんもパフォーマンスが楽しみです。そして特設ステージの最後を飾ったのは、看護師長たちによる盛り上がりました。

大規模地震を想定した、災害対応訓練を開催しました

15:00 災害発生!

15:02 対策本部設置

15:04 ドクタークロスの発令
発令後、応招者、診療部門員全員集合

15:11 各診療エリアの設営開始、傷病者受入開始
迅速、正確な指示、行動!

15:30 DMAT出動要請・了承
DMATとは、特別なトレーニングを受けた災害派遣医療チームのこと

16:00 訓練終了
災害時にこそ、綿密な報告、連絡、相談が重要

赤エリア
症状のレベルを瞬時に判断、治療の優先度を決定させるトリアージ

黄エリア
トリアージは、緑～黄～赤～黒によって分けられている。黄は早急に処置すべき状態、赤は命に関わる重篤な状態

おまけ
訓練終了にホッとしつつも、まだまだ緊張状態でマスコミ取材に対応

本番ながらの訓練で、新たな修正点が、見つかることも!

昨年3月11日に発生した東日本大震災を契機に、多くの皆さんのが防災対策の重要性を再認識しました。当院では、「防災マニアル」を大幅に見直し、改正いたしました。主な改正点は、当院が地域災害拠点病院およびDMAT指定医療機関としての役割を果たすため、あらゆる災害（火災、地震、大規模災害等）に対して、発生直後から対応できるようにしました。これらをふまえ、6月5日（火）に災害対応訓練を開催いたしました。今回は、改正したマニュアルに沿つて行いました。またマニュアルが真に機能するかどうかの検証も行われました。緊張感を持ちながら、各スタッフが自分の役割を果たしました。

このような災害想定でした。

平成24年6月5日（火）15時、福井県嶺北地方を震源としたマグニチュード8クラスの地震が発生。福井市内の至るところで家屋などの倒壊、道路の損傷、建物などの火災が発生、多数の死傷者が出ていた模様。当院は拠点救護所として開放するとともに、発災直後から来院する傷病者の対応を開始。



今年も優しい笑顔とともに しあわせの花が届きました

花言葉は「幸せ」。6月6日(金)、入院患者さんの一日も早い回復を願い全日空からスズランの鉢植えと30枚のしおりが寄贈されました。当院への寄贈は今年で52回目です。

当日は全日空の客室乗務員を務める角屋美帆さんが看護師とともに病棟を回り、スズランの押し花をあしらった手作りのしおりを直接患者さんに渡しました。「ありがとうございます」と照れに渡しました。

昭和31年から始まった全日空のスズラン寄贈。今年寄贈された計1万6000枚のしおりは、この日当院の他にも全国の赤十字病院の患者さんにしっかりと届けられました。



フロアアテンダント業務を 開始しました

患者さんが安心して受診していた様子。巡回してご案内を行う職員を配置しました。巡回中には体調のすぐれない方に声をお掛けし、看護師と連携を図り適切な対応に努めています。また、

長時間お待ちの方には、診察の進行状況や順番を調べてお伝えしています。相談先や検査室など、行き先がおわかりにならずお困りの方も気軽にお尋ねください。

総合案内では、「受診する科の相談」「療養生活で困っていること」「医療費に関する」と「セカンドオピニオンに関する」と「医療に関しての疑問やお気づきの点」など、対面または電話でのご相談をお受けしております。患者さんやご家族の不安の軽減をされるように担当者がご相談をお受けしておりますので、気軽に声をおかけください。

また相談内容によつては、病院内の関連部署と連携・調整をはかり、問題を解決できるように支援させていたいたております。

なお、相談いただいた内容については秘密を厳守しておりますので、安心してご相談ください。

肺の病気「気胸」をテーマに 市民公開講座を開催しました



6月の日(土)に「知つておきたい肺の病気～気胸・肺のパンク～」をテーマに市民公開講座を開催しました。本講座では、当院の呼吸器外科部長である松倉医師、重松義紀らが、若い人の気胸、お年寄りの気胸について、特徴や診断及び治療方法について講演を行いました。気胸の手術方法について

は、動画を使用して詳しく解説しました。また、喫煙者に起こる肺の変化なども分かりやすく説明しました。会場には104名の参加者が集まり、講演に耳を傾け、多数の質問がありました。

薬剤師による 病棟薬剤業務を開始しました

平成24年6月から各病棟で担当の薬剤師が病棟薬剤業務を開始しました。病棟薬剤業務では、入院時に患者さんが持ち込んだ薬持参薬の鑑別、安全な使用が求められる薬(不整脈用薬、糖尿病用薬等)についての説明、一部の注射薬の混合調製などを行って

います。これらの業務を通じて、より安全な薬物治療を提供できるように努めさせていただきます。

B プラン	300円×入院日数	A プラン	230円×入院日数
<ul style="list-style-type: none">●病衣(浴衣・甚平・トレーナー・介護ねまき)●バスタオル●BOXティッシュ●リンスインシャンプー●ボディーソープ		<ul style="list-style-type: none">●バスタオル●フェイスタオル●BOXティッシュ●リンスインシャンプー●ボディーソープ	

オプション プラン	上記プランの申込者のみ利用可能		
<ul style="list-style-type: none">●口腔ケア 80円×入院日数●食事用エプロン 60円×入院日数●肌着 80円×入院日数			

1泊2日お手軽入院セット／1000円×1泊2日		
<ul style="list-style-type: none">●病衣●バスタオル●フェイスタオル●歯磨き粉付き●スリッパ●ウェットティッシュ●カラーコップ●お箸●シャンプー●リンス●ボディーソープ●ブラシ●ビニール製巾着袋		

CSセットとは、入院中に必要となる身の回りのものをレンタルできるサービスのことです。CSセットを利用いただくことで、入院時に必要な衣類やタオル類、消耗品類の持ち込みや洗濯が不要になります。また、衣類やタオル類は高熱殺菌洗濯をしておりますので、安全で安心でCSにお問い合わせください。

ながら笑顔で会話を交わす女の子や、数日前に次女を出産したばかりの患者さんも「ありがとうございますね。ずっと記念にとつておきます」と大変喜んでいました。

昭和31年から始まった全日空のスズラン寄贈。今年寄贈された計1万6000枚のしおりは、この日当院の他にも全国の赤十字病院の患者さんにしっかりと届けられました。

CSセットとは、入院中に必要となる身の回りのものをレンタルできるサービスのことです。CSセットを利用いただくことで、入院時に必要な衣類やタオル類、消耗品類の持ち込みや洗濯が不要になります。

また、衣類やタオル類は高熱殺菌洗濯をしておりますので、安全で安心でCSにお問い合わせください。

CSセットとは、入院中に必要となる身の回りのものをレンタルできるサービスのことです。CSセットを利用いただくことで、入院時に必要な衣類やタオル類、消耗品類の持ち込みや洗濯が不要になります。

また、衣類やタオル類は高熱殺菌洗濯をしておりますので、安全で安心でCSにお問い合わせください。

栄養課
おすすめ!

夏のレシピ 〈枝豆入りハンバーグ～梅ソース～〉

作り方

- ①たまねぎをみじん切りにし、しなりするまでフライパンで炒める。
- ②枝豆は塩ゆでし、房から出す。
- ③鶏ミンチに塩を入れよくこねる。
- ④③に冷ました①、②を入れてさらにこねる。
- ⑤好みの大きさにまとめ、熱したフライパンで両面を焼く。
- ⑥梅干しは種をとり、細かく碎いておく。
- ⑦ソースを熱し、片栗粉でとろみをつけ、冷めてから⑥を入れ、混ぜ合わせる。
- ⑧盛り付けてできあがり。



材料

●2人分

☆ハンバーグ
たまねぎ 1/2個
枝豆 正味50g
〔 冷凍えだまめでもOK、量はお好みで調整を 〕
鶏ミンチ 100g
塩 少々
サラダ油 適量
☆梅ソース
梅干し 2個
ソース
・かつおだし 100cc
・酒 小さじ2
・みりん 小さじ2
・醤油 小さじ2
片栗粉 適量

エネルギー

●1人分

エネルギー..... 198kcal
たんぱく質 14.2g
脂質 10.7g
カルシウム 33mg
食物繊維 8.7g
鉄 1.5mg
ビタミンB1 0.15mg
ビタミンB2 0.16mg
塩分 1.7g

栄養ポイントはココ!

夏の風物詩として人気の枝豆は炭水化物、カルシウム、ビタミンB1、B2、鉄に富んだ食材です。梅干しは、その酸味で消化管の運動を活発にし、食欲を増進します。また、疲労物質(乳酸)の分解に効果的なクエン酸を含むため、疲労回復にも役立ちます。暑さで食欲がないときもさっぱり食べられる、夏バテ防止料理です。

今回の表紙

当院を利用される方々に適切なサービスを提供することを目的に、今年4月より医療支援課が設置され、それぞれ、医療秘書係・患者支援係として配属されました。当院の基本方針である『患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行う』『安全と質を向上させ、優しい医療を行う』ことが具現化できるよう日々努力しております。



医療支援課／田中延枝（左）西郡知代（右）

福井赤十字病院

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
E-mail
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやはや

“ほやはや”と納得できる情報、できたて“ほやはや”的情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。